

保育事例紹介～「科学する心」を育てる～

気づきの芽が膨らむ／姫路市立中寺幼稚園（兵庫県）

皆さんの園では、毎年、どのような花や野菜を栽培されていますか？

トマト、ナス、ピーマンなどは、園でも育てやすく、子どもたちは生長過程が見て興味をもちやすい植物だと思います。

その栽培物に関わる子どもたちが葉っぱの感触や匂いに気づき、感動し、自ら気づいたことを探究していく場面から、「科学する心」が育まれていることが伝わってきます。



● なんでだろう～葉っぱの不思議～／5歳児

✿ 「トマトの匂いがする」／5月上旬～

- クラスのみんなでトマトやピーマン、ナスの苗植えをした。苗を植えた後、最後に水やりをしていると、Aちゃんが、「この葉っぱ、トマトの匂いがする！」と、嬉しそうに保育者や友達に伝えに来る。
- それを聞いたBちゃんは、「ほんまや！じゃあ、ナスピの方も、匂いするかな？」と、側にあつたナスやピーマンの匂いを嗅いでみる。ナスの葉を触ったBちゃんが、「こっちはあんまり匂いしない。でも、なんかザラザラしてる」と言う。
- 子どもたちは、匂いを嗅いだり、触ったりして、気づいたことを伝え合った。その後、野菜や花が大きくなることだけでなく、匂いや感触を楽しみ、興味をもって観る姿が見られた。



✿ 「ザラザラ？フワフワ？」／6月中旬～

- Bちゃんが、ナスの葉がザラザラしていることをみんなに伝えた。すると、ベランダ近くにいた子どもたちは、他の野菜の葉を触りはじめた。Cちゃんは、「ザラザラ？トマトの葉はザラザラしてないよ！」「ピーマンの葉はツルツルだよ」と言い、他の野菜の葉も触ってみた。
- 保育者が、「本当だね、野菜によって、葉っぱの触り心地って違うんだね。花の葉っぱはどうだろう」と、子どもたちの言動を受け止めながら、近くの花や草の葉も触った。
- すると、ヒマワリの芽をそっと触ったCちゃんが、「ヒマワリの芽はちょっとフワフワ、気持ちいいー」などと言った。
- 野菜や花の種類によって、感触が違うことの面白さに気づき、いろいろな芽や葉を触って、気づいたこと、思ったことを口々に呟いた。



✿ 「黄色くなったら落ちるんや」／6月下旬～

- ・小学校の校庭で遊んでいると、4歳児が、「先生！きれいな葉っぱあげる！」と、保育者の所へ持ってきた。保育者の周りにいた5歳児の数名が、その葉を見て、「丸くて可愛い！」、「サラサラやー！」と、触り始めた。
Dちゃんは、「え？この葉っぱ、黄色と緑やで」と、葉っぱの色の違いに気づく。
「お日様に当たって焼けたんかな？」と呟き、Dちゃんたちは、その葉のある木の場所まで、4歳児に連れて行ってもらう。
- ・その木の下には、黄色い葉が沢山落ちていた。Eちゃんは、「あ！黄色くなったら落ちるんか！」と気づく。保育者が、「すごい！Eちゃん、葉っぱ博士やね。途中で色が変わる葉っぱもあるんだね」と言うと、Eちゃんは嬉しそうに照れた表情を見せた。



✿ 「アサガオって顔に見えるからアサガオ？」／7月上旬～

- ・保育室の前に植えていたアサガオに水やりをしていたGちゃんが、「なんか、この葉っぱ、顔みたい」と言った。近くにいた保育者は、「本当やね、先生も顔に見えてきた！」と、答える。すると、Gちゃんが、「顔に見えるから、アサガオって名前なんかな？」と言う。保育者は、「なるほど。Gちゃんすごいね」と受け止めた。
- ・Gちゃんが絵を描いてみないと描き出すと、それを見た友達も描き始め、「私はこんな顔にしよう」などと言いながら、それぞれが思うままに描き始めた。
- ・その後、自分たちが育てているヒマワリにも関心を示し、「じゃあ、ヒマワリはなんでヒマワリやろな」という声があがった。「ヒマワリの本に載ってるかな？」と言い、みんなで見ることになった。Dちゃんが、「これ、なんて書いてあるん？」と、保育者に尋ねたので、「ヒマワリの由来（太陽の動きにつれて、花の向きが回る）を、図鑑を見ながら伝えた。子どもたちは、「えー、ヒマワリ回るん？」「面白いなー」「回ってるところ、見たことないで！」などと言う。花の名前にも一つ一つ由来があることを知り、一層興味をもったようだった。



✿ 考察

- ・水やりをする中で、子どもたちは、葉には、それぞれ匂いや感触の違いがあることに気づいた。保育者自身も新たな発見であり、子どもがそのような視点で野菜に関わることに驚いた。
- ・友達同士、気づいたことを伝え合うことで、観察の視点が広がったと思われる。
- ・単に、葉っぱの感触や匂いだけでなく、葉の色の変化にも気づき、なぜだろう？と考える姿が見られた。また、2色になっていた葉を見たことで、葉の色が変化することや、色が変わって散っていく葉もあることに気づいたようだ。
- ・4つの場面を通して経験したことで、子どもたちは自然に「なぜ？」と考えて調べていく姿に変わっていき、調べることが楽しめるようになったと思われる。自分たちで調べて、気づいたり分かったりした時の嬉しい経験が、次への意欲につながっていくのではないかと思われる。そのため、調べて気づいたこと、分からなかったことで終わるのでなく、確かめて、自分たちで分かったことや探求したことへと、体験を深めていくようにしていきたい。